

MITSUBISHI

CD チューナーアンプ

形名

DH-700

取扱説明書



ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになった後、「保証書」・「サービス店名簿」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

もくじ

ご使用のまえに	3	CD部の操作のしかた	14
使用上のご注意	3	CDを再生する.....	14
免責事項について.....	3	曲を選ぶ.....	14
取り付けに関して.....	3	いろいろな再生のしかた.....	14
音量について.....	3	一時停止する.....	14
本体のお手入れ.....	3	リピート再生 (RPT).....	14
規格外ディスクについて.....	3	ランダム再生 (RDM).....	15
CD(ディスク)の取り扱いについて.....	4	スキャン再生 (SCAN).....	15
CD-R/CD-RWについて.....	4	MP3/WMA/AACを聞く	16
CD(ディスク)のお手入れ.....	4	MP3/WMA/AACを聞くには.....	16
こんなCD(ディスク)の使用は おやめください.....	5	曲(ファイル)を選ぶ.....	16
お客さまへ安全上のご注意	6	いろいろな再生のしかた.....	17
取付・配線時などのご注意.....	7	一時停止する.....	17
		リピート再生 (RPT).....	17
		ランダム再生 (RDM).....	17
		スキャン再生 (SCAN).....	17
		MP3/WMA/AACに関する注意点.....	18
		対応のファイルシステム.....	18
		MP3/WMA/AACファイル音楽再生順序... ..	18
		対応の圧縮フォーマット.....	19
		CDタイトル表示について	20
		ディスプレイモードの変更.....	20
操作方法	9		
共通部の操作のしかた	9	取り付けと接続	21
電源のオン/オフ.....	9	接続のしかた	21
ソースを切り替える.....	9	構成部品.....	21
交通情報を聞く.....	9	接続図.....	21
音量/音質を調整する.....	10	取り付けかた (DINサイズ採用車)	22
イコライザーを切り替える.....	10	ブラケット取り付けネジ穴例.....	23
時計を表示する.....	10	取り付け角度について.....	23
時計を合わせる.....	10		
AUXモードにする.....	10	その他	24
CDを挿入する/取り出す.....	11	故障かな?と思ったら	24
パネルの取り付け/取り外しかた.....	11	共通部.....	24
パネルを取り付ける.....	11	CD部.....	24
パネルを取り外す.....	11	ラジオ部.....	24
ラジオ部の操作のしかた	12	エラーメッセージ.....	25
ラジオを聞くには.....	12	保証とアフターサービス	26
マニュアル/シーク選局する.....	12	保証書について.....	26
プリセットメモリーのしかた.....	12	アフターサービスについて.....	26
オートメモリーのしかた.....	13	仕様	27

ご使用のまえに

使用上のご注意

ご使用前に必ずよくお読みください。

免責事項について

- ・火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のものです。実際のものとは異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に添付の保証書は当該機器を業務用の車両（バス・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象にはなりません。

取り付けに関して

- ・取り付けに際しては、「お客さまへ安全上のご注意」、「取り付けと接続」をよくお読みの上作業してください。
- ・ご自分での取り付けが困難な場合は、販売店またはカーディーラーにご相談ください。


音量について

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながる恐れがあります。

本体のお手入れ

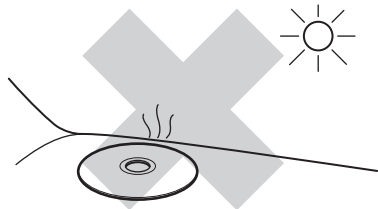
本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し固くしぼってからご使用ください。ベンジン・シンナー・化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

規格外ディスクについて

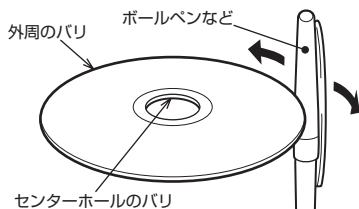
- ・市販の音楽 CD は  ロゴの入ったものなど JIS 規格に合致したディスクをご使用ください。
- ・規格外の CD を使用された場合には再生や音質の保証は致しかねます。
- ・規格外の CD を再生した場合、下記の症状が発生することがあります。
 - (1) 再生時に雑音が混入する。
また場合により音飛びする。
 - (2) ディスクを認識せずエラーになる。
 - (3) 1 曲目を再生しない。
 - (4) 頭出しに通常より時間がかかる。
 - (5) 曲の途中から再生する。
 - (6) 部分的に再生できない箇所がある。
 - (7) 再生途中で操作できなくなる。
 - (8) 誤表示する。

CD(ディスク)の取り扱いについて

- 虹色に光っている面(印刷のない面)が記録面です。記録面に触れないように持ってください。またディスクには紙などを貼らないでください。
- 真夏の炎天下に閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなりの高温になりますので、絶対に放置しないでください。



- 新しいディスクを使用するときは、ディスクのセンターホールや外周部にバリが残っていないことを確認してください。バリが残っている場合には、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。バリが残っているままご使用になると、ディスクが挿入できない場合や音とびの原因となります。



CD-R/CD-RW について

- CD-R/CD-RW のレーベル面や記録面にシール・シート・テープなどを貼らないでください。
- CD-R/CD-RW は通常の音楽 CD に比べ高温多湿環境に弱く、一部のディスクは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷が付くと再生できない場合があります。一部の CD-R/CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。
- CD レコーダーで記録した CD-R/CD-RW は、その特性・傷・汚れなどにより再生できない場合があります。
- ご使用になる CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されたものに限りです。

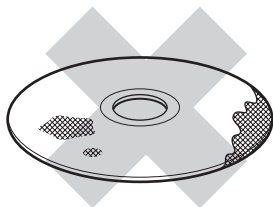
CD(ディスク)のお手入れ

- 演奏する前に、ホコリやゴミ、指紋などを市販のクリーニングクロスでよく拭きとってください。ディスクは内側から外側へ向かって拭いてください。
- ベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナーは使用しないでください。また、静電防止剤なども、逆に CD を傷めることがありますので、使用しないでください。
- ピックアップ清掃用のレンズクリーナーは機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

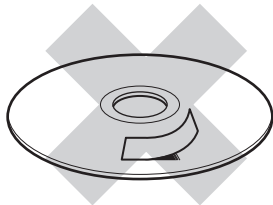
こんな CD(ディスク) の 使用はおやめください

次のようなディスクを使うと、本体内部にディスクが貼り付いて本体自体の故障の原因となり、お客さまの大切なディスクにもダメージを与えることがあります。

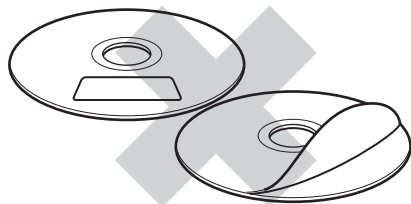
- CD に付着物が付いているものや、シールをはがした後にのりが付着している CD はラベル面をきれいに拭き取ってからご使用ください。



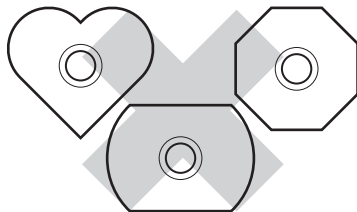
- レンタル CD などシールがめくれている CD は使用しないでください。



- お手持ちの CD に飾り用のラベルやシールを貼ったもの、またはラベルのはがれかかった CD は使用しないでください。故障の原因となります。




- ハート型や八角形など特殊形状の CD は、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。






- New Maxi シングル CD(12cm の大きさで外周に透明な部分があるシングル CD) は、機器の故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 8cmCD には対応していません。故障の原因となりますので、アダプタも使用しないでください。




お客さまへ安全上のご注意


製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

  このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。

   このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。

 この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告



- 運転者は走行中に複雑な操作をしない。
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。
事故、火災、感電の原因となります。
- 本機は DC12V マイナス⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしない。火災や故障の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れない。発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- ディスク挿入口に異物を入れない。火災や感電、故障の原因となります。



- 万一、異物が入った、水がかかった、煙がでる、変な匂いがするなど異常が起きたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店が弊社代理店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



- 本機の分解、改造をしない。故障、火災、感電の原因となります。



- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線に触れない。
落雷により感電の原因となります。

⚠ 注意



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

■ 取付・配線時などのご注意

⚠ 警告



禁止

- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けません。交通事故やけがの原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機を取り付けと配線をしない。
エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。
- 左右や前後のスピーカー端子を共通にして接続しない。
火災の原因となります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。
誤った穴開けをすると火災の原因となります。



必ず行う

- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス⊖端子を外す。
ショート事故による感電やけがの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げにならないよう、テープなどでまとめておく。
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確認する。
正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。

注意



注意

- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。



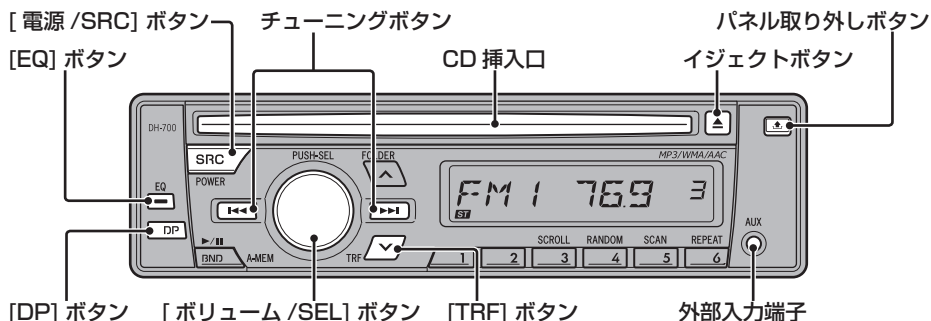
必ず行う

- 接続時は必ずエンジンを止めキーを抜いた状態で行ってください。
- 落下などによる、強い衝撃を与えないでください。
機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。
- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷する場合やしっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。
- 取付要領書で指定された通りに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動する原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 他の機器と接続する場合は、各機器の取扱説明書も併せてよくお読みの上、正しくお使いください。

操作方法

共通部の操作のしかた

共通する操作を説明します。



電源のオン / オフ

1 **SRC** を押す

電源が入り、最後に聞いていた状態を再生します。

2 **SRC** を長押しする

電源をオフにします。

ソースを切り替える

ラジオから CD に切り替えるときなどに使用します。

1 **SRC** を押す

[電源 / SRC] ボタンを押すごとにラジオ → CD → AUX の順に切り替わります。

お知らせ

- CD が挿入されていない場合は、CD のソースをスキップします。

交通情報を聞く

1620kHz または 1629kHz の交通情報を聞くことができます。

1 **▼** を長押しする

交通情報 (AM1620kHz または 1629kHz) を受信します。

2 **◀▶** または **▶▶** を押す

1620kHz または 1629kHz に切り替わります。

3 **▼** を長押しする

最後に聞いていた状態を再生します。

音量 / 音質を調整する

1 で音量を調整する



[ボリューム / SEL] ボタンを右に回すと大きく、左に回すと小さくなります。

2 を押す

[ボリューム / SEL] ボタンを押すごとに BASS → TREBLE → BALANCE → FADER の順に切り替わります。

3 で調整する

5 秒間何も操作しないときは、元のソースに戻ります。

音量 / 音質調整	 左へ回す	 右へ回す
VOL(音量)	0 音量小	40 音量大
BASS(低音)	-6 減少	+6 増強
TREBLE(高音)	-6 減少	+6 増強
BALANCE(バランス)	L15 左へ移動	R15 右へ移動
FADER(フェーダー)	R15 リアへ移動	F15 フロントへ移動

アドバイス

- 音量はソース別に調整ができます。
- 取り付け後、各ソースの音量は初期設定値“18”になっています。

イコライザーを切り替える

音質を変更することができます。

1 を押す

[EQ] ボタンを押すごとに FLAT → ROCK → POP → JAZZ → VOCAL → CLUB の順に切り替わります。

時計を表示する

1 を押して時計表示に切り替える

各ソースで、[DP] ボタンを押す回数は異なります。

お知らせ

- 時計表示は 24 時間表示です。

時計を合わせる

1 を長押しする

“時”の桁が点滅します。もう一度、[DP] ボタンを押すと“分”の桁が点滅に変わります。

2 または で時刻を調整する

3 合わせたい時刻にして を押す

調整が完了します。

AUX モードにする

1 外部入力端子にステレオミニプラグ (φ 3.5mm) を挿入する

2 を押して AUX に切り替える

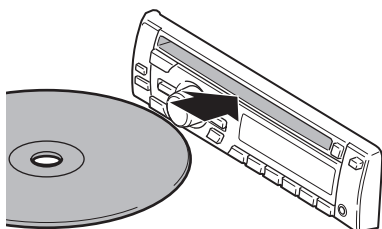
表示部に「AUX IN」を表示します。

注意

- ステレオミニプラグの抜き差しは音量を最小にしてから行ってください。
- 挿入しなくても AUX に切り替わりますので未挿入時の音量操作に注意してください。

CD を挿入する / 取り出す

1 レーベル面を上にして CD を挿入する



自動的に再生状態になります。

2 を押す

イジェクトボタンを押すと、CD が排出され、元聞いていたソースに切り替わります。

注意

- 8cmCD には対応していません。
- イジェクト動作中は音声はミュートになります。

パネルの取り付け / 取り外しかた

本機はパネルを取り付けおよび取り外すことができます。

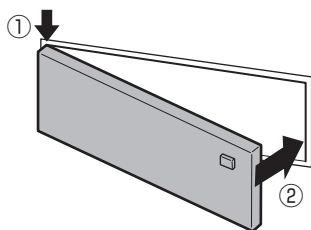
注意

- パネルの取り付けおよび取り外す場合は必ず電源を切ってください。電源を入れたまま行くと故障の原因となります。
- 取り外しの際は、落下しないように注意してください。
- 取り外した後は、本体部やパネルの端子部にむやみに触れないでください。故障の原因となります。

■ パネルを取り付ける

1 イグニッションキーを OFF にする

2 パネルを①に合わせてから押し込む

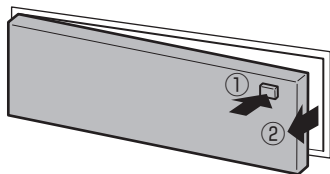


■ パネルを取り外す

1 を長押しする

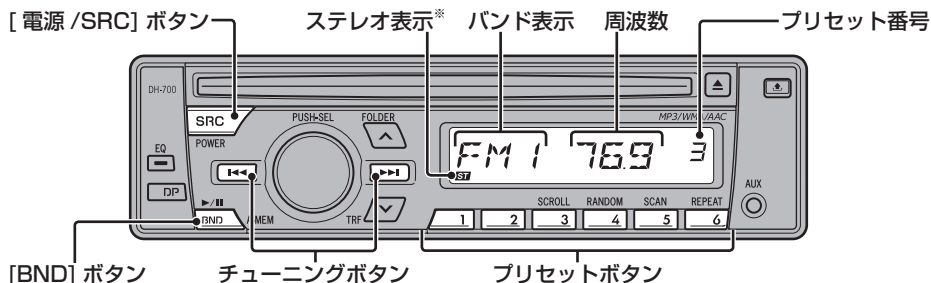
本機の電源を切ります。

2 を押し、手前方向に引く



ラジオ部の操作のしかた

ラジオの聞きかたについて説明します。



* FM ステレオ放送時に点灯します。

ラジオを聞くには

1 **SRC** を押してラジオにする

[電源 / SRC] ボタンを押してラジオのソースに切り替えます。

2 **BND** を押してバンドを切り替える

[BND] ボタンを押すごとに FM1 → FM2 → FM3 → AM の順に切り替わります。

マニュアル / シーク選局する

ラジオの放送局を選びます。

1 **◀◀** または **▶▶** で聞きたい周波数に合わせる

◀◀	低い方へ受信周波数が変わります。
▶▶	高い方へ受信周波数が変わります。
◀◀ (長押し)	ボタンを離すと、シーク選局となり自動的に放送局を受信すると停止します。
▶▶ (長押し)	

プリセットメモリーのしかた

放送局をあらかじめ記憶させることができ、後で呼び出すことができます。

1 記憶させたい周波数を受信する

2 **1** ~ **6** のいずれかを長押しする

プリセット番号と周波数が点滅したらメモリー完了です。

アドバイス

- プリセットメモリーはバンド(周波数帯)ごとに最大6局ずつプリセットに記憶させることができます。
- すでにメモリーされているプリセットボタンを選んだ場合は新しい放送局を上書きします。
- プリセットボタンを短押しすることで、あらかじめメモリーされている周波数を呼び出すことができます。

オートメモリーのしかた

自動的に電波の強い放送局が順にプリセットボタンに最大 6 局まで記憶させることができます。

1 **BND** を長押しする

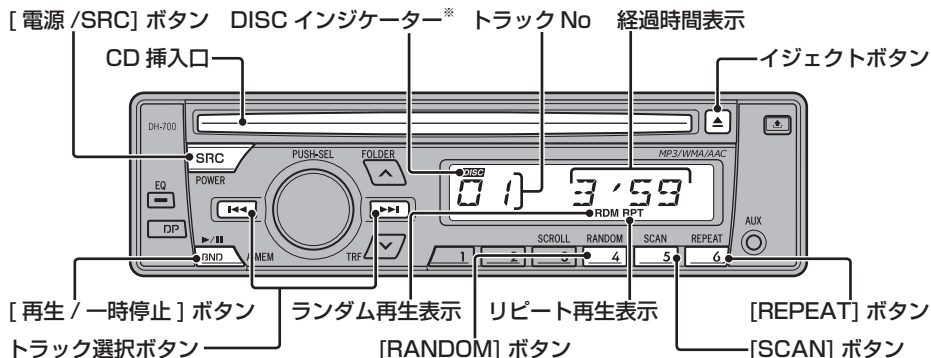
オートメモリー動作終了後はプリセットボタン [1] にメモリーされた放送局を受信します。

注意

- 元のメモリーされていた周波数は書き換わってしまいますのでご注意ください。

CD 部の操作のしかた

音楽 CD(CD-DA) の聞きかたについて説明します。



※ ディスクが入っていると点灯します。

CD を再生する

1 ディスクを挿入する

→ 「CD を挿入する / 取り出す」(P11)
すでにディスクが入っている場合は、
[電源 / SRC] ボタンを押して CD のソースに切り替えてください。

曲を選ぶ

1 **⏮** または **⏭** で曲を選ぶ

トラック選択ボタンを押すと、次または前のトラックを選択することができます。

アドバイス

- **⏮** または **⏭** を押し続けると、早送り / 早戻しができます。最初のトラックまたは最終トラックまで曲を送ると、早送り / 早戻しが解除され通常再生に戻ります。

いろいろな再生のしかた

リピート再生やランダム再生、スキャン再生をすることができます。

■ 一時停止する

1 **BND** を押す

[再生 / 一時停止] ボタンを押すと、曲が一時停止します。再度、押すと再生を再開します。

■ リピート再生 (RPT)

1 **6** を押す

[REPEAT] ボタンを押すと、現在再生している曲を繰り返し再生します。

アドバイス

- もう一度押すと解除します。
- 選曲操作を行うと、リピート再生を解除します。
- ランダム再生中でもリピート設定ができます。

■ ランダム再生 (RDM)

1 **4** を押す

[RANDOM] ボタンを押すと、ディスク内の曲をランダムに選び出し再生します。

アドバイス

- もう一度押すと解除します。
- 同じ曲を続けて再生することもあります。

■ スキャン再生 (SCAN)

1 **5** を押す

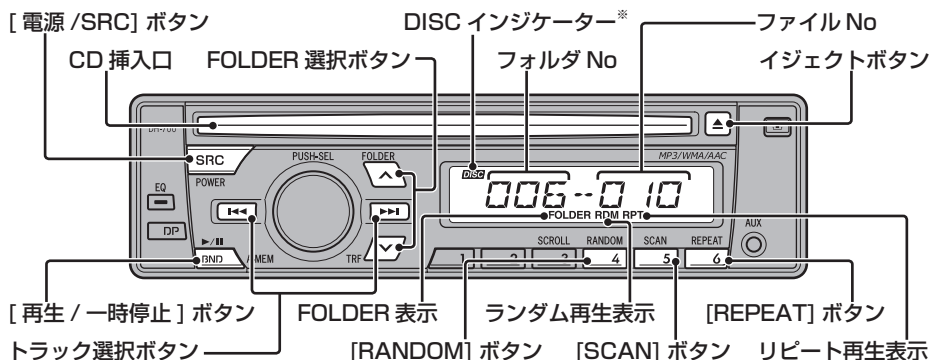
[SCAN] ボタンを押すと、現在再生している曲の次の曲から、始めの部分を 10 秒間ずつ順番に再生します。

アドバイス

- 聞きたい曲の再生中に再度押すと通常の再生に戻ります。
- ディスク内の曲すべてを一巡するとスキャン再生を解除し、通常再生に戻ります。
- スキャン中は“トラック No” が点滅します。

MP3/WMA/AAC を聞く

音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) が入ったディスクの聞きかたについて説明します。



※ ディスクが入っていると点灯します。

MP3/WMA/AAC を聞くには

1 ディスクを挿入する

→ 「CD を挿入する / 取り出す」 (P11)
すでにディスクが入っている場合は [電源/SRC] ボタンを押して CD のソースに切り替えてください。

アドバイス

- ファイルの構成により読み込みに時間がかかる場合があります。

曲 (ファイル) を選ぶ

1 ▲ または ▼ を押してフォルダを選ぶ

▲ で次フォルダ、▼ で1つ前のフォルダを再生します。フォルダが1つしかない場合は、受けつけません。

2 ◀ または ▶ で曲を選ぶ

トラック選択ボタンを押すと、次または前のトラックを選択することができます。

アドバイス

- ◀ または ▶ を押し続けると、早送り / 早戻しができます。最初のフォルダの先頭曲または最終フォルダの最終曲まで送ると、早送り / 早戻しが解除され通常再生に戻ります。

いろいろな再生のしかた

リピート再生やランダム再生、スキャン再生をすることができます。

一時停止する

1 **[BND]** を押す

[再生 / 一時停止] ボタンを押すと、曲が一時停止します。再度、押すと再生を再開します。

リピート再生 (RPT)

1 **[6]** を押す

[REPEAT] ボタンを押すと、現在再生している曲を繰り返し再生します。

アドバイス

- もう一度押すと解除します。
- 選曲操作を行うと、リピート再生を解除します。
- ランダム再生中でもリピート設定ができます。

フォルダリピート再生

1 **[6]** を長押しする

[REPEAT] ボタンを長押しすると、現在再生中のフォルダ内の曲を繰り返し再生します。

アドバイス

- もう一度長押しすると解除します。
- フォルダを選ぶことでも、リピート再生を解除します。

ランダム再生 (RDM)

1 **[4]** を押す

[RANDOM] ボタンを押すと、ディスク内の曲をランダムに選び出し再生します。

アドバイス

- もう一度押すと解除します。
- 同じ曲を続けて再生することもあります。

フォルダランダム再生

1 **[4]** を長押しする

[RANDOM] ボタンを長押しすると、現在再生中のフォルダ内の曲をランダムに選び出し再生します。

アドバイス

- もう一度長押しすると解除します。

スキャン再生 (SCAN)

1 **[5]** を押す

[SCAN] ボタンを押すと、現在再生している曲の次の曲から、始めの部分を 10 秒間ずつ順番に再生します。

アドバイス

- 聞きたい曲の再生中に再度 [SCAN] ボタンを押すと通常の再生に戻ります。
- ディスク内の曲すべてを一巡するとスキャン再生を解除し、通常再生に戻ります。
- スキャン中は“ファイル No” が点滅します。

フォルダスキャン再生

1 **[5]** を長押しする

[SCAN] ボタンを長押しすると、再生中フォルダの次のフォルダからスキャンを開始します。各フォルダの先頭曲を 10 秒間ずつ順番に再生します。

アドバイス

- スキャン中は“フォルダ No” が点滅します。

■ MP3/WMA/AAC に関する注意点

注意

- 著作権法により、音楽を私的に楽しむという目的以外は、著者からの許可を得ずに音楽を記録（コピー）、配布または送信することが禁じられています。

MP3	MP3 は MPEG Audio Layer3 の略語です。 MP3 は音楽圧縮フォーマットとして最も普及しています。
WMA [*]	WMA は Windows Media Audio の略語です。 WMA は Microsoft Corporation によって開発された音楽圧縮フォーマットです。WMA データは Windows Media Player を使って符号化することができます。
AAC	AAC とは Advanced Audio Coding の略称です。 映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。

^{*} Microsoft、Windows Media、および Windows ロゴは米国および / または他の諸国において Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

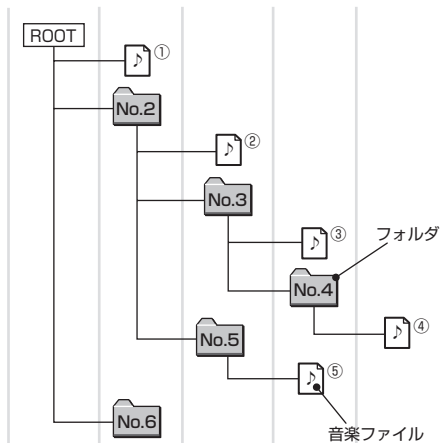
■ 対応のファイルシステム

- ISO 9660 レベル 1 および 2、ISO 9660 への Apple 拡張、Joliet、Romeo、ISO9660 と UDF のブリッジ形式に対応しています。
- Apple HFS、UDF 1.50 には対応していません。
- 最大 511 ファイルまで使用できます。1 つのフォルダには最大 511 ファイルまで使用できます。

■ MP3/WMA/AAC ファイル音楽再生順序

下図のような MP3/WMA/AAC ファイルで構成されたディスクを再生した場合、①～⑤の順序で再生します。

フォルダに何も保存されていない場合、そのフォルダをスキップします。



■ 対応の圧縮フォーマット

圧縮方法	サンプリング周波数	ビットレート	VBR
MPEG-1 AUDIO LAYER3(MP3)	32/44.1/48kHz	32 ~ 320kbps	○
MPEG-2 AUDIO LAYER3(MP3)	16/22.05/24kHz	8 ~ 160kbps	○
MPEG-2.5 AUDIO LAYER3(MP3)	8/11.025/12kHz	8 ~ 160kbps	○
Windows Media Audio Ver7.0 ~ Ver9.0 Standard(WMA)	32/44.1/48kHz	48 ~ 320kbps	○
MPEG-4: AAC-LC (Low Complexity)(AAC)	11.025/16/22.05/24/32/ 44.1/48kHz	16 ~ 320kbps	○

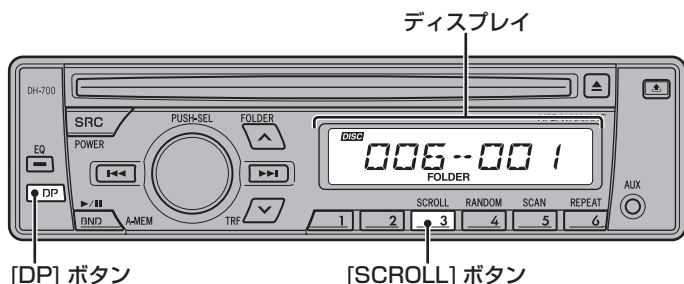
注意

- ID3 タグは Ver1.xx、Ver2.xx に対応しています。
- マルチセッションは対応していますが、ディスクアットワンスで記録されたディスクの使用を推奨します。
- パケットライティングソフトには対応していません。
- CD EXTRA では第一セッションのみ再生ができます。
- 記録条件または CD-R/RW の特性により、音が途切れたり割れたりすることがあります。
- ファイルフォーマットに応じて、各ファイルに拡張子「.mp3」、「.wma」または「.m4a」を付けてください。
- MP3/WMA/AAC ファイル以外のファイルや不要なファイルをディスク上に記録しないでください。
- AAC ファイルについて、iTunes 以外でエンコードしたファイルは再生できないことがあります。

※ iTunes は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

CD タイトル表示について

本機は CD タイトル表示が可能です。表示内容について説明します。



ディスプレイモードの変更

ディスプレイの表示内容を変更することができます。

1 DISC 再生中に **DP** を押す

[DP] ボタンを押すごとに表示内容が切り替わります。

注意

- CD タイトル表示操作は安全運転の妨げになりますので、安全を十分に確認した上で操作を行ってください。

アドバイス

- 表示できない文字は「*」で表示します。
- 表示できる文字は英数字のみです。
- CD タイトルが記憶されていない CD を再生した場合は表示部に「NO NAME」と表示します。
- 一度に表示できる文字数は 8 文字です。文字数が多い場合、[SCROLL] ボタンを押すと次につづく文字を表示します。

CD-DA を再生中のとき

「トラック No./ 経過時間」 → 「ディスク名」 → 「トラック名」 → 「時計表示」の順で切り替わります。

MP3/WMA/AAC を再生中のとき

「フォルダ No./ ファイル No.」 → 「経過時間」 → 「フォルダ名」*¹ → 「ファイル名」 → 「アルバム名」 → 「タイトル、アーティスト名」 → 「時計表示」の順で切り替わります。

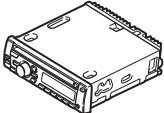
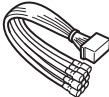



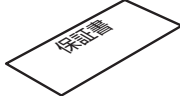
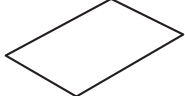
* 1 フォルダのルートを再生中は、「ROOT」と表示します。

取り付けと接続

接続のしかた

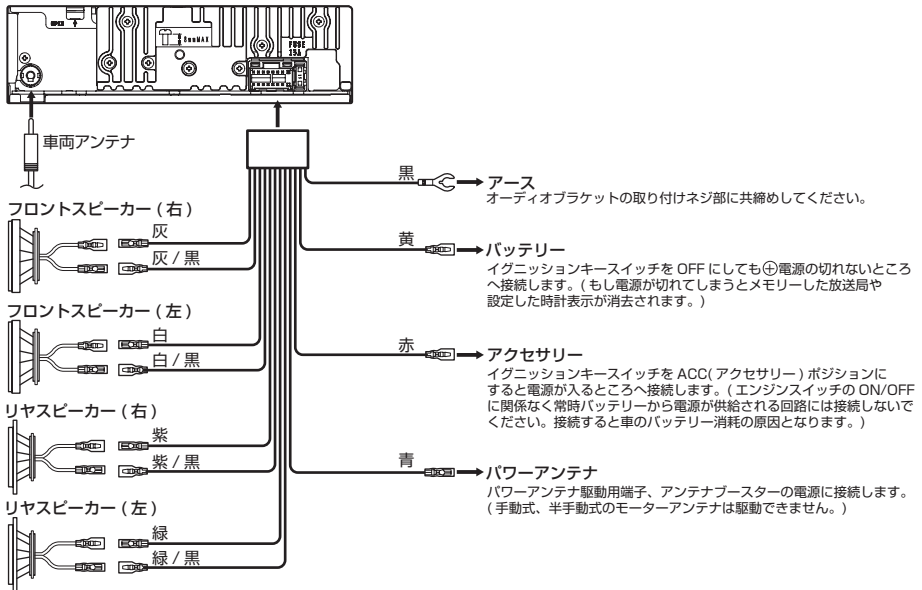
本機の接続のしかたを説明します。

■ 構成部品

本体	専用接続コード	M5 × 8 (ボルト)	M5 × 8 (皿ネジ)
		 × 4	 × 4
取扱説明書 (本書)	保証書	サービス店名簿	
			

取り付けと接続

■ 接続図

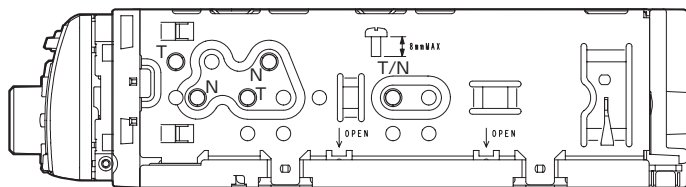


注意

- ・ アクセサリー (赤) とバッテリー (黄) の電源リード線は必ず指定の場所に接続し同じところへまとめて接続しないでください。

ブラケット取り付けネジ穴例

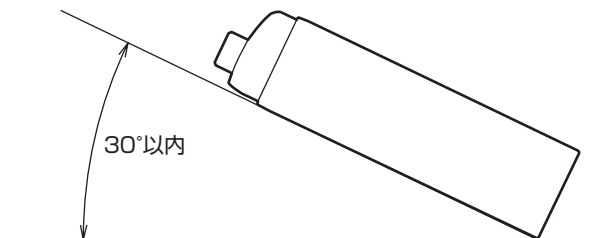
ブラケットを取り付けるときに使用するネジ穴が、各メーカーで異なります。
下記を参考にネジ止めしてください。



記号	車メーカー名
T	トヨタ、三菱
N	日産

取り付け角度について

本機は水平～30°の範囲内で取り付けてください。取り付け角度が30°以上になると、音飛びの原因となりますのであらかじめ取り付けになる車両の取り付け角度を確認してください。



その他

故障かな？と思ったら

下記に示します処理を行っても症状が直らないときは、配線や本体に異常が発生している可能性があります。お買い上げ店またはサービス店名簿に記載のお店にご相談ください。

■ 共通部

症状	原因	処置
電源が入らない。動作しない。	接続コードが外れている。	各リード線のギボシ端子の接続を確認してください。
特定のチャンネルから音が出ない。	スピーカー接続が外れている。	スピーカーリードの接続を確認してください。
	フェーダーやバランスが偏った調整になっている。	設定を確認してください。 →「音量 / 音質を調整する」(P10)

■ CD 部

症状	原因	処置
ディスクが入らない。	すでにディスクが挿入されている。	ディスクを取り出してください。 →「CD を挿入する / 取り出す」(P11)
	ディスクが入っていないのにローディング状態になっている。	一度イジェクトボタンを押してください。 →「CD を挿入する / 取り出す」(P11)
音が飛ぶ。	取り付け角度が 30 度以上になっている。	取り付け角度を確認してください。 →「取り付け角度について」(P23)
同じ箇所で音が飛ぶ。	ディスクに傷、汚れなどがついている。	ディスクをお確かめください。
ディスクを入れても音がでない。	ディスクの傷、汚れなどのためデータが読み込めない。	ディスクをお確かめください。なお、CD-R/RW をご使用の場合はディスクの特性により再生できない場合があります。

■ ラジオ部

症状	原因	処置
受信できない。	アンテナが伸びていない。	手動式の場合はアンテナを伸ばしてください。パワーアンテナの場合はアンテナの電源接続を確認してください。
シーク選局で放送局が受信できない。	放送局の電波が弱くストップしない。	マニュアルで選局してください。 →「マニュアル / シーク選局する」(P12)

■ エラーメッセージ

表示内容	原因	処置
CD ERR1	ディスクが汚れている。 ディスクが裏返しに挿入されている。	ディスクをお確かめください。
	音楽用のフォーマットで記録されたディスクでない。	音楽用のフォーマットで記録されたディスク (CD-DA、MP3/WMA/AAC) を使用してください。 → 「対応のファイルシステム」 (P18) → 「対応の圧縮フォーマット」 (P19)
CD ERR2	ディスクに傷がついている。	ディスクをお確かめください。
CD ERR3	ローディング、イジェクト異常、ピックアップ位置異常などのなんらかのメカエラー	お買い上げ販売店にご相談ください。
CD ERR4	音楽ファイルが対応しない圧縮フォーマットになっている。	音楽ファイルを正しい圧縮フォーマットにしてください。 → 「対応の圧縮フォーマット」 (P19)
CD ERR5	WMA デジタル著作権保護されているディスクを挿入した。	コピー防止されていないディスクを使用してください。

保証とアフターサービス

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されています。
- 所定事項の記入 < 販売店印 > < お買い上げ日 > および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無償修理期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

■ アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は ▶	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
-------------	--

保証期間経過後の修理は ▶	修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償修理いたします。
---------------	---

- 当社はカーステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後 6 年間保有しています。
- 保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店もしくは添付サービス店名簿に記載されている最寄りのお店にお申しつけください。

仕様

CD部	周波数特性	20 ~ 20,000Hz
	高調波歪率	0.01% (1kHz 0dB)
	SN比	96dB
	ワウ・フラッター	測定限界以下

ラジオ部	受信周波数帯域	FM 76.0 ~ 90.0MHz AM 522 ~ 1,629kHz
	実用感度	FM 10dBf 0.9 μ V/75 Ω AM 28dB μ
	SN比	FM 62dB IHF-A AM 50dB
	ステレオセパレーション	FM 30dB(1kHz)

アンプ部	最大出力	50W \times 4
	音質調整	低音 \pm 12dB(100Hz) 高音 \pm 12dB(10kHz)
	AUX入力	最大 2.0V(入力インピーダンス 10k Ω) ϕ 3.5mm ステレオミニジャック

電源部	電源電圧	DC14.4V(10.8V ~ 15.6V 使用可)
	最大消費電流	10A

寸法・質量	取付寸法	178(W) \times 50(H) \times 160(D)mm
	質量	1.2kg

- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。



〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビル